

2020.7 Vol.91

ヤングアダルト世代へ贈る、ブックガイド

発行：野洲図書館

(野洲市辻町410番地)

tel 077-586-0218 fax 077-587-5976

<https://www.lics-saas.nexs-service.jp/yasu/>

野洲図書館のホームページから「YAのページ」が見られます。司書のつぶやきなど更新中。あそびにきてね♪

やすど!

Yasu-dokusyo-CLUB

野洲図書館のホームページはこちら→→



今号の内容は…

★表紙の1冊 ★司書のオススメ ★新しく入った本 デス

表紙の1冊

いらっしやいませ！ご来場ありがとうございます！

『恋とポテトと夏休み — Eバーガー① —』

神戸遙真／著 講談社 913.6/37



第一志望の高校に入学できず、もやもやとした気持ちのまま1学期を終えた守崎優芽。厳しい母親のこともあって、友達もできず、部活にも入らず、憂うつな夏休みが始まると覚悟していたそのとき。目の前を横切ったのは、優芽が第一志望の高校をめざすきっかけとなった憧れの先輩だった。思わず後を追う優芽。たどり着いたのは有名バーガー・チェーンの「Eバーガー」。そこで優芽はアルバイトの面接希望者と間違えられてしまい—？

◆いいなあ、こういう青春！優芽も実感していくことになるのですが、アルバイトって、価値観も年齢も経験してきたこともバラバラな人たちと出会っていろんなことを学べる、クラスや部活とは違った特別な場所なんだと思います。最初はまさか自分が働くことになるとはと、おどおどしていた優芽ですが、“ミルク2個”事件の対応などは、大人顔負け。周りの人たちとの交わりの中で、「プレイヤー」(=Eバーガーでの店員さんのこと)としても、また人間としても確実に成長してきた優芽。さて、今度はその恋模様でひと波乱ありそうですね…！？(ざ)

全3巻予定。
2巻『恋とポテトと文化祭』も到着したて★



司書のオススメ

YA担当司書からのオススメです♪

『虹いろ図書館のへびおとこ』

櫻井とりお／著 河出書房新社 K913/47



火村ほのかは、二学期から転校してきた女の子。“転校生人気”が続く間に友だちを作らなきゃ、と思っていたのに、クラスのボスの女子“かおり姫”が猫のおなかにパンチを入れるのを止めたばかりに、嫌がらせを受けるはめに…。学校に行くことができず、町をさまよっていたほのかがたどり着いたのは、おんぼろの図書館でした。そこで出会ったのは、体の右半分が緑色の司書、書庫にこもる少年、お父さんの会社のパワハラ上司(実はかおり姫の父親)、それにたくさんの本たち—。

◆からかわれて、「がふー なにそれなにそれなにそれ！」とむくれるほのかがつってもかわいい！でも、この小さな女の子の中には、大切な人を貶められた怒りや、そのぎゅんぎゅん熱い嵐が静まるのを待つことができる力や、それまで怖くてたまらなかつたかおり姫の前に真っすぐに立つ勇氣、でも、自分がそうしたせいでお父さんがクビにされちゃうかもという罪悪感、いろいろないろんな気持ちがいっぱい詰まっているんです。(ち)

『こわれたせかいのむこうがわ』

陸道烈夏／著 KADOKAWA(電撃文庫) B913.6/17



ただ一つ残るヒトの国「チオウ」の貧民として生きる少女フウ。母親に先立たれ孤独になるも、小鳥のアサと共に生きるため便利屋になって暮らしていた。フウはラジオを聴くことを日課にしており、どこから流れてくるかわからないラジオ番組を学校の授業代わりにして、知識を増やしていった。ある日、お腹を空かせた学生服の変な少女カザクラと出会う。食べ物を分けてあげたことをきっかけに、彼女はフウを「お兄ちゃん」と呼んで慕い付いてくるようになる。底抜けに明るいカザクラと居て、孤独の寂しさを感じなくなったフウ。しかし、カザクラは自身の手配書が出回るほどの重大な秘密を持っていた。

◆厳しい世界で孤独に耐えて生きていくフウが、カザクラとの仲が深まっていくことで孤独が癒えていくのが感動！！フウ達が住んでいる世界は人を食べる怪物や人造人間などが存在して、生きていくだけでも過酷そうだけれど、会社や学校なんかもあって私たちが住んでいる世界とどこか似ています。そして、古いラジオ一つが時にフウの心の支えになったり、生活の知恵や戦闘術を教えてくれる先生になったり、世界の秘密のヒントになったり、超重要アイテムになっていくのが本当に面白い！(よ)

『きみに応援歌(エール)を 古関裕而物語』

大野益弘／著 講談社 K762



今春から放送のNHK連続テレビ小説「エール」のモデルとなった古関裕而さん。全国高等学校野球大会のテーマ「栄冠は君に輝く」、「オリンピック・マーチ」、彦根東高校の校歌などを作曲された方です。阪神タイガースの「六甲おろし」を作ったかと思いきや、巨人軍の球団歌も制作。共通するのは、だれかを「応援したい」という気持ち。第二次世界大戦で従軍し、軍歌の作曲も頼まれた古関さんですが、戦争を称賛するのではなく、戦争へおもむく人を勇気づけるための歌だと言い聞かせたエピソードが胸に刺さります。一方で、奥さんの金子さんとのなれそめ話なんかも載っています。二人の恋は文通から始まったのですが、初対面を前にした手紙で「あなたが不美人だろうがなんだろうが(略)」ふびじん！すごい言い回しですが、文のやりとりだけで恋に落ちた二人の情熱が伝わります。くしくも今年は、ドラマの制作と東京五輪が延期になり、夏の甲子園は中止に。それでも応援曲の神様は、空の上から「エール」を送ってくれているに違いありません。(ざ)

『みつきの雪』

眞島めいり／著 講談社 K913/マ

みつきと行人(ゆきと)は、村で二人だけの同級生。周りは、ラブラブだあ、と言うけれど、バカじゃないの。私たちはそんなじゃない。普通の友だちと違うのは、行人は都会から来た山村留学生だってこと。そして山村留学生は、仲良くなれたと思ったらふいにいなくなる“お客さん”だってこと。でも行人は、「来年も再来年も、その先も、村の学校に通わせてもらう」って言った。じゃあ、大学生になったら？夏休みになったら、ここには遊びにくる？高校の卒業式前日、二人が通った小中学校の図書室で、行人は初めて、村に来た理由、都会に帰らなかったわけを話し出す。

◆卒業式前にみつきが“あの言葉”に行きついて、本当によかったー。みつきの気持ち、めっちゃわかるよ！なぜなら私も村育ちだから！田舎とは縁がなくても、これから大切な人を見送る人、見送られる人におススメです。(ち)



『ニッポンじゃアリエナイ世界の国』

斗鬼正一／監修 あべさん／イラスト SBクリエイティブ K382



日本と外国の習慣の違いに驚かされることがありますが、それはただ一部を切り取って私たちが見ているからです。その行動の裏には彼らの国の文化や歴史があり、それを知ることのできるような考えで行動しているのかわかってきます。よく海外の驚き映像で、電車の上にも人が乗っている満員過ぎるインドの電車を見ます。これにも理由があって、インドは人口密度が高い国で人と人の距離が近いことが普通らしく苦じゃないとか。そのせいか心の距離も近くなって、隣の新聞を持った知らない人に新聞を貸してもらうなんてことも!?他にもアリエナイと感じる世界の文化はたくさんあります。ちょっと覗いてみませんか？(よ)

NEW ARRIVALS

↓あたらしくはいったほん(の、ほんの一部)です↓

| タイトル | 著者 | 出版社 |
|-------------------------------|---------------|----------|
| だから拙者は負けました。 | 本郷和人／監修 | 宝島社 |
| あなたの不安を解消する方法がここに書いてあります。 | 吉田尚記／著 | 河出書房新社 |
| 有権者って誰? | 藪野祐三／著 | 岩波書店 |
| なぜ僕らは働くのか | 池上彰／監修 | 学研プラス |
| 僕たちの部活動改革 | 神谷拓／著 | かもがわ出版 |
| ウルド昆虫記バッタを倒しにアフリカへ | 前野ウルド浩太郎／著 | 光文社 |
| 博士の愛したジミな昆虫 | 金子修治／編著 | 岩波書店 |
| 文豪のすごい言葉づかい辞典 | 山口謠司／監修 | 宝島社 |
| 14歳からの読解力教室 | 犬塚美輪／著 | 笠間書院 |
| 大人になるまでに読みたい15歳の海外の詩 1・2 | 青木健／編 | ゆまに書房 |
| この素晴らしい世界に祝福を! 17 | 暁なつめ／著 | KADOKAWA |
| 旋律月下 | 綾崎隼／著 | KADOKAWA |
| オーバーライト | 池田明季哉／著 | KADOKAWA |
| 通常攻撃が全体攻撃で二回攻撃のお母さんは好きですか? 11 | 井中だちま／著 | KADOKAWA |
| 嘘嘘嘘、でも愛してる | 川田戯曲／著 | KADOKAWA |
| ソードアート・オンライン 24 | 川原礫／著 | KADOKAWA |
| 龍神様のお嫁さん…のはずですが!? | 佐々木禎子／著 | ポプラ社 |
| 楽園ノイズ | 杉井光／著 | KADOKAWA |
| 平安恋うた綴り | 空飛ぶひよこ／著 | 一迅社 |
| Re:ゼロから始める異世界生活 22 | 長月達平／著 | KADOKAWA |
| 人類最強のsweetheart | 西尾維新／著 | 講談社 |
| いらっしゃいませ下町和菓子栗丸堂 | 似鳥航一／著 | KADOKAWA |
| きのうの春で、君を待つ | 八目迷／著 | 小学館 |
| スガリさんの感想文はいつだって斜め上 3 | 平田駒／著 | 河出書房新社 |
| ドーナツの歩道橋 | 升井純子／著 | ポプラ社 |
| 14歳とイラストレーター 8 | むらさきゆきや／著 | KADOKAWA |
| 水曜日が消えた | 吉野耕平／監督・脚本 | 講談社 |
| 日和ちゃんのお願いは絶対 | 岬鷺宮／著 | KADOKAWA |
| 星名くんは甘くない | 夜野せせり／著 | 集英社 |
| 永遠の夏をあとに | 雪乃紗衣／著 | 東京創元社 |
| やはり俺の青春ラブコメはまちがっている。アンソロジー 1 | 渡航／ほか著 | 小学館 |
| うちの中学二年の弟が | 我鳥彩子／著 | 集英社 |
| 樹上の葉 樹上の花 | 曹文軒／作 | 樹立社 |
| コピーボーイ | ヴァンス・ヴォーター／作 | 岩波書店 |
| そして誰もいなくなった | アガサ・クリスティー／著 | 早川書房 |
| 兄の名は、ジェシカ | ジョン・ボイン／著 | あすなろ書房 |
| プリンス・チャームングと呼ばれた王子たち | クリストファー・ヒラー／著 | ホーム社 |

編集後記：◆換気のため窓やドアを開けて開館していると、小さなお友だちがやってくるのが。チョウチョ、オニヤンマ、ヤモリ……網で捕まえて外へリリース。タヌキに持って行ったら高く売れるのになあと思うのは、「あつ森」脳の私です。(ざ)
◆陸で溺れる体験をしました。マスクをして運動するとあんなに苦しいとは…。命の危険を感じる運動はやめましょう!(よ)
◆YA初担当です。この本よかった!というのを教えてもらえると、(私じゃなくても) 司書はとっても喜びます。(ち)